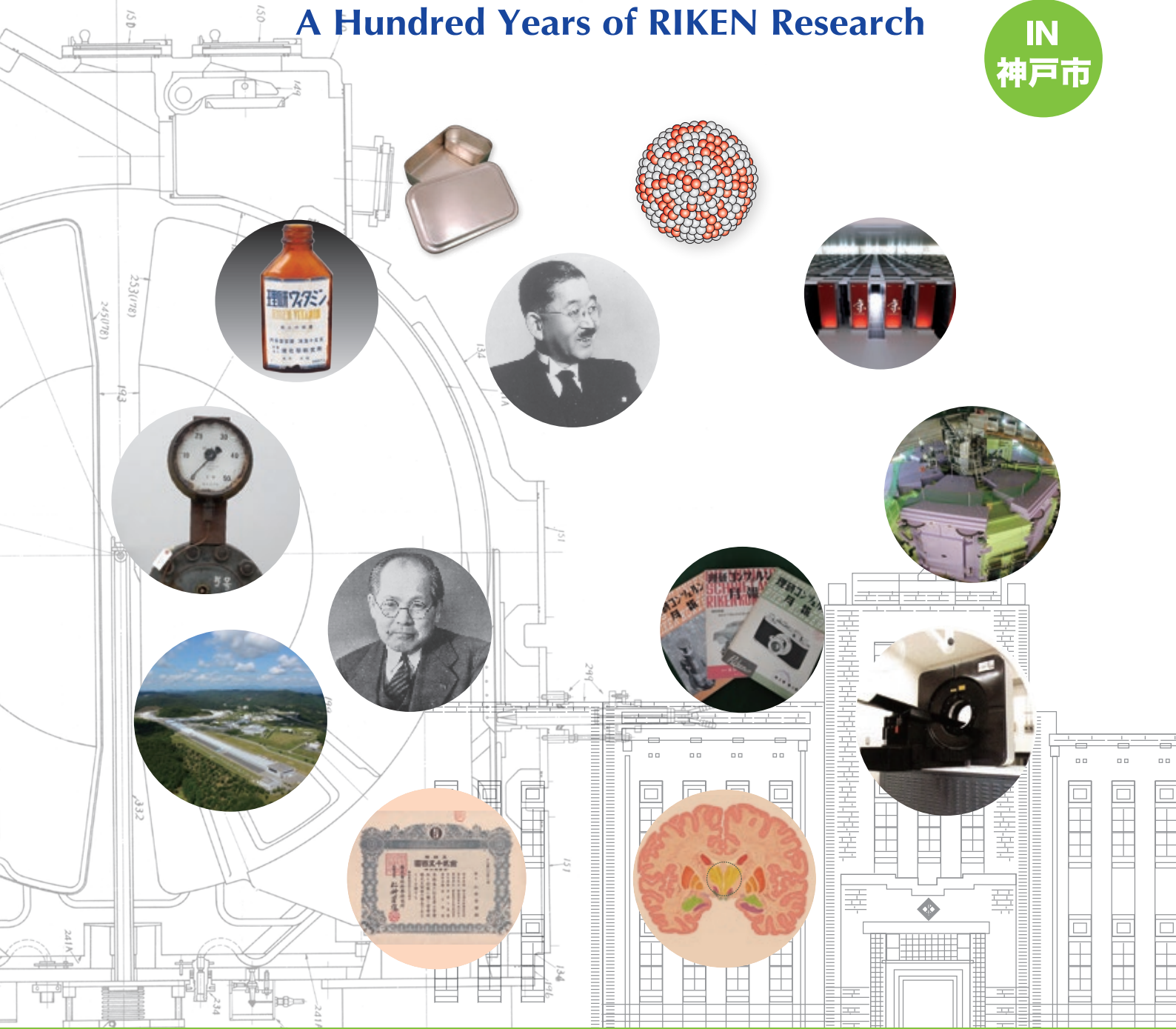


理化学研究所百年

A Hundred Years of RIKEN Research

IN
神戸市



パネル展

※パネル展は申込み不要

7/20 木 ~ 8/23 水

7/20 9:30 ~ 16:30
7/21 ~ 8/23 9:30 ~ 19:00
開催期間中は休館日なし
閉館の30分前までに入館

記念講演会 「細胞が集まって体ができるしくみ」

7/22 土 講師：竹市雅俊
理化学研究所 多細胞システム形成研究センター 高次構造形成研究チーム チームリーダー

記念講演会 「スパコンって何だろう？ 何が出来るんだろう？」

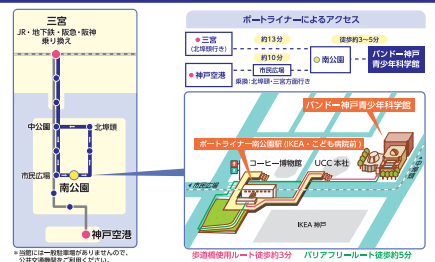
7/23 日 講師：横川三津夫
理化学研究所 計算科学研究機構 客員主管研究員 / 神戸大学大学院システム情報学研究科 教授

【時間】開場 13:30、講演会 14:00 ~ 15:20(予定) ※両日ともに 【対象】小学生以上(幼児の入室はご遠慮ください)

【応募方法】電話申し込み 078-302-5177 6/15、10:00より受付開始

主催：理化学研究所、バンドー神戸青少年科学館

バンドー神戸青少年科学館



パネル展：1階プロログ 記念講演会：新館地下ホール
展示室入館料 ※展示室入館料でパネル展もご覧いただけます。
大人(18歳以上)：600円、小学・中学・高校生：300円
<http://www.kobe-kagakukan.jp>

理化学研究所百年

りかがくけんきゅうしょ りげん
理化学研究所（理研）は、1917年（大正6年）、今から百年前、高峰譲吉博士らの提唱により、科学の究明をもって産業の基礎を固め、西洋に劣らぬ国力をつけようと、皇室の御下賜金と財界、政界、官界、学界の協働により、財団として誕生しました。

理研の研究者は、研究に専念できる環境のもと自由に議論し、世界に先駆けた発見や発明を数多く成し遂げてきました。同時に、その研究成果の製品化や工業化にも努め、社会の

発展にも大きく寄与してきました。その研究姿勢は、いつしか“理研精神”と呼ばれるようになりました。

理研では現在、物理学、工学、化学、計算科学、生物学、医科学、数理学など、広い分野の研究者約3,000名が所属し、専門分野を掘り下げた研究と同時に、分野横断型の研究や産業界と連携した研究も積極的に行っています。

2017年に創立百周年を迎え、さらなる挑戦を続ける理研にご期待ください。

パネル展

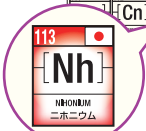
※パネル展は申込み不要

7/20 木 ~ 8/23 水

7/20 9:30 ~ 16:30
7/21 ~ 8/23 9:30 ~ 19:00 開催期間中は休館日なし

理研設立までの道のり、百年年表、多彩な研究者、理研の研究制度、研究成果から生み出された製品、現在の研究、新元素ニホニウム発見。理研100年のあゆみを、パネルでご紹介します。

		13	14	15
		[Al]	[Si]	[P]
29	30	31	32	33
[Cu]	[Zn]	[Ga]	[Ge]	[As]
47	48	49	50	51
[Ag]	[Cd]	[In]	[Sn]	[Sb]
79	80	81	82	83
[Au]	[Hg]	[Tl]	[Pb]	[Bi]
111	112	113	114	115
[Cn]	[Nh]	[Fl]	[Mc]	



▲ニホニウムが掲載された元素周期表（一部）



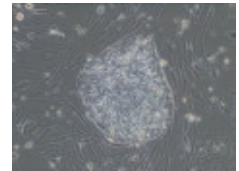
▲日本で加速器科学を確立した仁科芳雄（第四代所長、初代科学研究所社長）



▲「研究力を高め、同時に研究成果を社会に役立てる」理研の礎を築き上げた大河内正敏（第三代所長）



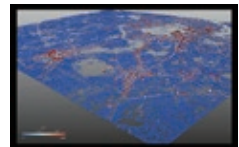
▲ヒット商品「理研ビタミン」ビタミン研究も理研がリードした



▲2013年、iPS細胞を用いた世界初の臨床研究を開始



▲「アルマイト」開発のきっかけとなった三角定規



▲「京」により実現された地震の揺れのシミュレーション

記念講演会

※要参加申込み

【プログラム（両日とも）】14:00 ~ 14:20 理研の紹介、14:20 ~ 15:20 講師による講演
【参加費】無料 ※記念講演会申込者で受付開始時刻（13時）以降の入館者は展示室入館料も無料
【定員】両日とも200名
【応募方法・会場・対象】表面参照のこと

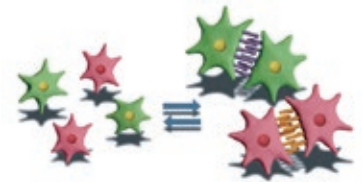
7/22 土



さいぼう
『細胞が集まって体ができるしくみ』

講師：竹市雅俊 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター 高次構造形成研究チーム チームリーダー

私たちの体は、さまざまな細胞が積み木細工のように重なってできています。どのようにして、精巧な積み木細工ができるのでしょうか？ これを調べるために、実験室では、細胞を人工的にバラバラにして、プラスチック容器の中で培養し、様子を観察します。すると、一個一個の細胞は、独立した生命体として生きていることが分かります。ところが、この細胞たち、離れることを好みません。いつも、たがいにくっつき合っています。そして、うまく培養すると、元の積み木細工のかたちに戻ってしまいます。体が維持されるのは、細胞に、たがいにくっつき合おうという性質があるからなのです。この、細胞が集まるしくみについて、おはなしします。



7/23 日



『スパコンって何だろう？ 何ができるんだろう？』

講師：横川三津夫 理化学研究所 計算科学研究機構 客員主管研究員 / 神戸大学大学院システム情報学研究科 教授
毎日の天気予報、インフルエンザに効く薬の開発、宇宙の始まりの研究・・・これらにはスーパーコンピュータ（スパコン）が利用されているをご存知でしょうか？ なんともスパコンは、皆さんが気付かないところで大活躍しているとっても身近なものなのです。では、スパコンは、家にあるパソコンやみんなが持っているスマホと何が違うのでしょうか？ また、どうやってスパコンで天気予報や薬の開発ができるのでしょうか？ 理化学研究所と富士通が開発したスーパーコンピュータ「京」の話を取り入れながら、スパコンを紐解きます。《講演進行：干場真弓（計算科学研究機構）》

